

第2次江田島市総合計画審議会（第1回）要点録

開催日時	平成25年7月24日（水）午後2時～4時
開催場所	江田島市役所 本庁 2階会議室
出席者	<p>■ 審議会委員（敬称略）</p> <p>城田 俊彦 広島県過疎地域振興課 課長 樋上 美由紀 江田島市教育委員会 委員 小方 憲三 江田島市自治会連合会 会長 藤田 里子 江田島市女性会連合会 副会長 前田 政子 江田島市老人クラブ連合会 副会長 富田 美保 江田島市PTA連合会 母親代表 青木 博美 安芸地区医師会江田島ブロック ブロック長 大石 君枝 江田島市社会福祉協議会 理事 村上 浩司 江田島市農業委員会 委員 久保河内 鎮孝 江田島市漁業振興協議会 会長 伊藤 富美雄 江田島市観光協会 会長 中谷 隆 県立広島大学 教授</p> <p>■ 江田島市</p> <p>正井 嘉明 副市長 土手 三生 総務部 部長</p> <p>【事務局：総務部企画振興課】</p> <p>亀田 浩司 企画振興課 課長 仁城 靖雄 企画振興課 課長補佐 道本 浩二 企画振興課 主任</p>
欠席者	<p>■ 審議会委員（敬称略）</p> <p>宇根川 昭男 江田島市商工会 副会長 フンク カロリン 広島大学 准教授</p>
傍聴者	4人
会議次第 及び資料	<p>会議次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 審議会委員紹介【資料1】 4 会長・副会長選出 5 会長あいさつ 6 諮問 7 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 江田島市総合計画審議会条例等について【資料2，資料3，資料4】 (2) 第2次江田島市総合計画策定スケジュールについて【資料5】 (3) 第2次江田島市総合計画の策定に当たって【資料6】 (4) まちづくりアンケート調査について【資料7】 (5) 市民ワークショップについて【資料8】 (6) その他 8 閉会 <p>【資料】</p> <p>資料1：第2次江田島市総合計画審議会委員名簿 資料2：江田島市総合計画審議会条例</p>

【平成25年7月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第1回）要点録】

	<p>資料3：第2次江田島市総合計画審議会の運営について 資料4：江田島市総合計画審議会の傍聴に関する取扱い基準 資料5：第2次江田島市総合計画策定スケジュール（案）（裏面につづく） 資料6：第2次江田島市総合計画の策定に当たって 資料7：まちづくりアンケート調査について 資料8：市民ワークショップについて</p>
<p>会 議 概 要</p>	
<p>事務局</p>	<p>1 開会 本日は、お忙しい中お集まりくださいまして誠にありがとうございます。</p> <p>会議を開催するに先立ち事務局からお知らせします。 本日、資料とともに、江田島市総合計画審議会委員を委嘱する辞令書を机に置かせていただいております。 氏名に間違いがないかご確認くださいませようお願いします。</p> <p>また資料につきましてもご確認くださいませようお願いします。 資料は、次第と資料1から資料8までございます。もし、ないようでしたら事務局にお申し付けください。</p> <p>ないようでしたら、 それでは、ただいまより第2次江田島市総合計画審議会を開催いたします。 審議会は次第にそって進めさせていただきます。</p> <p>それでは、はじめに田中江田島市長がごあいさつを申し上げます</p>
<p>田中市長</p>	<p>2 市長あいさつ 皆様こんにちは。市長の田中でございます。</p> <p>皆様におかれましては、第1回目となりますこの江田島市総合計画審議会に、大変お忙しい中、お集まりくださいまして誠にありがとうございます。また、この度の審議会委員の就任につきましては、快く承諾くださいまして厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、今回の総合計画審議会は、現行の第1次総合計画が平成26年度で終了となりますことから、平成27度からスタートする新たな総合計画、第2次総合計画をご審議いただくために、設置したものでございます。</p> <p>この総合計画は、市の最上位計画に位置付けされるもので、10年間の長期にわたる計画です。言わば、江田島市が今後、進むべき道を示すものでございます。</p> <p>皆様ご承知のとおり、人口減少や少子高齢化、まだ実感のない景気回復や消費税問題、また地域主権も不透明な動きになりつつあるなど、我が国はまだまだ課題が多くあります。</p> <p>また、地方を取り巻く情勢は依然と厳しいものがあります。本市におきましても、合併による江田島市誕生から10年が経とうとしている中で、地方交付税の特例加算措置の終了が見えており、大変厳しい財政運営を強いられていることが予想されます。</p> <p>しかし、私たちにはこの素晴らしい江田島市を次の代に引き継ぐ責務がございます。これからの厳しい時代におきましても、持続可能なまちづくりをしていかなければなりません。</p> <p>私は市長としての2期目のスローガンで「交流・創造・実感」を掲げています。これは、</p>

【平成25年7月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第1回）要点録】

	<p>江田島市を持続可能なまちとするために、「交流」によって新たな活力を生み出し、「創造」によって豊かな未来を切り開き、江田島市に住んでよかったと皆さんに「実感」してもらおうことを目標にしたものです。</p> <p>そのためには、江田島市のこの豊かな地域資源を存分に活用していくとともに、市民や地域の力を核とし、都市との交流や地域・世代間の交流によって活力にあふれ、未来への安心と希望に満ちた持続可能なまちをつくっていく必要があると考えております。その工程表ともいべきものが、これから皆様にご審議いただきます第2次総合計画となってくるわけでございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、市民の皆様の代表として、あるいはご専門のお立場から、十分にご意見を述べていただきまして、本市の進むべき道筋をご審議いただければと思っております。</p> <p>この審議会は今年度と来年度の2年間となります。皆様、それぞれ大変お忙しい中、誠に恐縮ではございますが、十分にご議論賜りますよう申し上げ、あいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>3 審議会委員紹介</p> <p>つづきまして、次第3の審議会委員の紹介に移らせていただきます。本日の会議は市総合計画審議会の初めて会議でございますので、委員の皆様のご紹介をさせていただきたいと思っております。</p> <p>できましたら自己紹介でお願いできればと思っております。</p> <p>広島県の城田課長さんから右回りでお願いたします。</p> <p>なお、フंक カロリン委員と宇根川委員は、所用により欠席されます。また、富田委員は30分程度遅れての参加となります。</p>
各委員	<p>※城田委員から、自己紹介（P1の「出席者－審議会委員」を参照）。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>学識経験者で広島大学准教授のフंक カロリン委員、及び宇根川委員から、本日の欠席のご連絡をいただいております。</p>
事務局	<p>4 会長・副会長選出</p> <p>それでは、次第4の議題に入ります。</p> <p>本審議会の会長・副会長の選出でございます。</p> <p>会長・副会長は江田島市総合計画審議会条例第6条の規定により、委員の互選によって定めるとしております。</p>
	<p><互選></p> <p>会長：県立広島大学の中谷さん</p> <p>副会長：市教育委員会の樋上さん</p>
事務局	<p>5 会長・副会長あいさつ</p> <p>それでは会長席・副会長席へ移動をお願いします。</p> <p>会長、副会長の就任がきましたので、ここでごあいさつをいただきたいと思っております。まず会長さんをお願いします。</p>
会長	<p>私は長く地域連携という役を担い、様々な地域で問題をつぶさに体験してきました。江田島市もそうですが、各地域で共通した悩みを持っています。地域ごとに違う部分もあります。また、社会情勢、江田島市の外部情勢、内部の状況も様々で、リスクになる部分があれば、早めにつんで行かなくてはならないこともあると思っております。</p> <p>こうした状況や第1次の総合計画を踏まえ、江田島らしさといったものを出して行かなくてはならないと思っております。強みになる部分を掘り起こし、総合計画の中に付け加え、生かすことができればと考えています。</p> <p>私の感想ですが、郷土愛が非常に強い地域は、非常に活発に計画をリニューアルしてい</p>

【平成25年7月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第1回）要点録】

	く意欲があります。そういう地域は、子どもたちも確かに元気です。親御さんや地域の大人を見て子どもが育つんだなあと、私もよく感じておりまして、この第2次総合計画が次世代の子どもたちにも受け継がれて、その子どもたちが幸せになれるような計画に、是非していきたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございました。 つづきまして、副会長さんお願いします。
副会長	なれない立場ですが、会長を助けて、がんばっていきたいと思います。 私は深江なんです、深江のまちづくり協議会のスローガンが、「伝えよう、深江の文化、子や孫に」です。このスローガンが好きで、いつもセンターの前を通るとき、良いスローガンだなと、感じています。 これは、どこでも通用するのではと思いますが、スローガンは実現することが大事なので、この委員会に参加させていただき、少しでも手助けができればと思っていますのでよろしくお願いいたします。
事務局	6 諮問 ありがとうございました。 それではここで市長から本審議会へ諮問があります。
市長	第2次江田島市総合計画審議会会長、中谷隆様。江田島市長、田中達美。 第2次江田島市総合計画の策定について諮問します。このことについて、江田島市総合計画審議会条例（平成17年、江田島市条例第6号）第2条の規定により、貴審議会に意見を求めるものでございます。 よろしく審議をお願いします。
事務局	ここで市長は他の公務のため退席します。
市長	退席
事務局	これより次第7の協議事項となりますが、審議会条例第7条3項に会長は会議の議長となるとありますので、ここからの進行は会長へお願いします。
会長	7 協議事項 それでは、次第7（1）「江田島市総合計画審議会条例等について」を議題とします。 事務局から説明させます。
事務局	（1）江田島市総合計画審議会条例等について【資料2、資料3、資料4】 それではまず初めに、江田島市総合計画審議会条例の説明をいたします。資料2の江田島市総合計画審議会条例をご覧ください。 （条例の説明） 次に第2次江田島市総合計画審議会の運営について説明をいたします。資料3の第2次「江田島市総合計画審議会の運営について」をご覧ください。 （運営についての説明） 資料4の江田島市総合計画審議会の傍聴に関する取扱い基準をご覧ください。 （傍聴基準についての説明） ※内容は資料2、資料3、資料4のとおり
会長	この件について、何か質疑があればお願いします。
委員	了承
会長	（2）第2次江田島市総合計画策定スケジュールについて【資料5】 了承いただきましたので、協議事項（2）「第2次江田島市総合計画策定スケジュールについて」を議題とします。 事務局から説明してください。

【平成25年7月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第1回）要点録】

事務局	<p>それでは資料5をご覧ください。 （第2次江田島市総合計画策定スケジュールについて説明） あわせて、審議会委員の会議での役割を説明</p> <p>※内容は資料5のとおり</p>
会長	この件について、何か質疑があればお願いします。
委員	資料にあるフローからみて、今年度の3月に基本構想は議会に提案して議決するようになっていますが、そこで固まるのでしょうか。 それから後の作業はどのようになるのでしょうか。
事務局	地方自治法の改正で、基本構想を議決することは法的には規定されなくなりました。総合計画はオーソドックスな形として基本構想、基本計画、実施計画で構成されます。現行計画の基本構想は、地方自治法で定めてあり、議会議決を頂いています。今回も、基本構想は市全体のビジョンになることから、議会議決を頂くように考えています。
委員	そこまでが、機會議決の範疇ということで、そこから先の基本計画や実施計画について、議決後に我々の作業として続けていくことになるかと理解します。 今の説明で、これからの進め方については理解できました。
会長	基本構想は議会で議決してもらい、その範囲の中で基本計画や実施計画を考えて行くこととなりますが、基本計画や実施計画は、議決された基本構想から逸脱しないようにする必要があります。 残り3回で基本構想に関わる中間答申を作成して行かなくてはならないと言うことであり、タイトではありますが、よろしくお願いします。
会長	<p>（3）第2次江田島市総合計画の策定に当たって【資料6】</p> <p>それでは、協議事項（3）「第2次江田島市総合計画の策定方針について」を議題とします。 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、資料6をご覧ください。 （第2次江田島市総合計画の策定方針について説明）</p> <p>※内容は資料6のとおり</p>
会長	今の説明でおおかたはご理解頂けたのではないかと思います。 最後の方に記されています市民の参加と協働がキーワードになっているのではと思います。こちらに関しては、5頁により具体的にまとめてありまして、細目の方針案が提示されています。 この件について、何か質疑があればお願いします。
事務局	説明が前後しますが、今日ご欠席の委員からコメントを頂いていますので、代わって読まさせていただきます。 市民の声を生かした計画づくりや市民参加があげられていますが、そこには注意点が2つあると思います。 一つは、市民から得られた意見に対して、どのような形で対応していくか、取り入れるかと言うことです。つまり、市民の意見をどのような形で計画に反映していくかという説明責任があると思います。そこは明確にした方がよいです。 もう一点は、市民とは誰かということです。自治会などがあげられていますが、伝統的な近所組織以外にも様々な組織があるはずです。特に、女性や若い人、外部から引っ越してきた人の声を十分反映させることが必要です。 簡単なコメントで申し訳ございませんが、よろしくお願いいたします。 以上です。
会長	この点に関しては、最後のその他のところでも、皆さんから自由に意見を頂くことを考えていますが、この策定方針は重要なので、ここで気づいた点、コメントしたい点がありましたら、ご発言ください。

【平成25年7月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第1回）要点録】

	<p>基本姿勢は3つです。それを細かくした内容がまとめてあります。使える計画，市民の声を生かすなどがあり，先ほどの委員の意見にありましたように，市民とは誰かが今後問題になってくるかもしれません。</p> <p>外から流入されてこられた人たちを，どのように取り込んでいくかについても，皆さんに考えていただくということになるかもしれません。もちろん，その人たちも市民です。古くから住まわれている方も市民であり，市民をどのように定義するかで，施策にも関わってきますので，そのあたりも，今後考えていただくことになるのではと思っています。</p> <p>これからアンケート調査を行うことで，数値が表れてくることにはなりますが，その数値がどの程度実態を表しているかを，皆さんにご意見を頂くことになろうかと思っています。</p> <p>数値にしておけば，使える計画という面でも，検証がわかりやすくなり，対策も考えやすくなり，また，ローリングも考えられているので，それが明確になります。実施計画を立てるだけでなく，その検証を行っていくことに，特徴があるのだと思います。</p> <p>アンケート調査（市民満足度調）を通じて，市民目線で検証することに関してもキーワードです。</p> <p>3番目の未来を切り開くと言ったこともキーワードで，地域資源の活用や近隣の都市部との連携をどうするか，協働なども位置づけられています。市民の皆さんが相互に協力し，江田島市を活性化するということは，草の根的に地域で計画を立て，市民の皆さんがどんどん活性化に取り組むことが理想ではないかと思っています。</p> <p>それを追っかける形で，行政が毎年度，実施計画を微調整するという形が幸せではないかと思っています。</p> <p>いかがでしょうか。皆さんのご意見は。</p>
委員	我々委員の発言は，責任として残るのでしょうか。発言に責任を持たせられると，意見を出すのが難しい面があります。
事務局	公表する議事要旨は無記名です。
会長	あまり萎縮しないで，意見を出して頂きたい。
事務局	<p>どんどん意見を出してください。</p> <p>とりまとめは事務局であり，事務局が責任を持つことになります。</p> <p>発言されたことが，計画に載らないことがあるかもしれませんが，沢山意見を出していただきたい。</p>
会長	<p>市民と合わせて，職員参画もあります。</p> <p>（4）まちづくりアンケート調査について【資料7】</p> <p>他にないようでしたら，協議事項（4）「まちづくりアンケート調査について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>それでは，資料7をご覧ください。</p> <p>（まちづくりアンケート調査について説明）</p> <p>※内容は資料7のとおり</p>
会長	この件について，何か質疑があればお願いします。
委員	<p>アンケート調査の対象の抽出方法は，無作為で2,000人を対象となっています。おそらく住民基本台帳を基本とされると思います。</p> <p>できれば旧4町，江田島，能美，沖美，大柿の人口割合をもとに均衡がとれるようにしてほしい。</p> <p>多くが高齢者なので，我々としては未来世代の方の意見が一番ほしいと考えています。若い人の意見も出てくるように，できれば抽出段階で配慮していただけないかということです。</p>
会長	この点につきましては，広島県の方がなれているのではと思いますが。

【平成25年7月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第1回）要点録】

委員	<p>私の方もこの点については、質問しようと思っていました。この計画を実施して行くに当たって、どういう計画にしていくかということだと思います。</p> <p>一つは江田島市の将来、20年、30年後を担う今の若い人、これから住まう人に焦点を当てるのが考えられます。もう一方では、私たちは過疎ということの対策を考えていますが、例えば買い物や通院などで困っていらっしゃるお年寄りの方などに焦点を当てることを考えると、そういう方々の意見を把握することも必要となります。</p> <p>今回の計画は、総合計画なので、若い人や高齢者の方々など、幅広く意見を聞くことが大切になります。</p> <p>アンケート調査票をみますと、最初に性別や年齢別、地域などの設問がありますので、これによる集計、例えば、男性で65歳以上の方ならこんな傾向があるかとか、また、地域別ではこんな状況になっているとか、属性による傾向は分かるようになっています。</p> <p>ただし、アンケート調査の片寄りというのは出てくるので、そのあたりのバランスをどのようにとっていくかは、課題としてあります。</p>
会長	<p>私も、この点は気になるところです。</p> <p>一番スタンダードな方法は、多段階、無作為ということになり、労力はかかりますが。考え方としては、地域、年齢層、男女比の3つ、男女までは設定しにくいかもしれませんが。</p> <p>少なくとも、地域と年齢層だけは、それぞれの住民のパーセンテージに応じて無作為にお願いする方法がよいかもしれません。</p> <p>私も何度か地域で行ったアンケート調査をみて、果たして地域の実態に合っているか、分からない面があります。答えているのは、ほとんど高齢者となり、そこからみて施策し反映させたとやっているのですが、答えている方が高齢者の方が多くて、片寄りがあるので、本当にこれが良いのかについては、疑問が残ることはあります。</p> <p>対象者の抽出については、力を入れて、先ほど言いましたように、地域を限定して、その後、地域の中の住民の年齢構成をみて、お願いするという方法がとれないものでしょうか。その方が良さそうな気がします。</p>
委員	<p>賛成です。</p> <p>せっかく調査をするのですから、地域の年齢構成に応じて抽出していただく必要があると思います。</p> <p>調査の片寄りを少なくすることが大切と考えます。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえて、できるところまで、対応するようにします。</p>
会長	<p>私の方から、細かい点ですが技術的な指摘をさせていただきます。</p> <p>7頁の設問では、最初に満足度を答え、次に重要度を答えるようになっていますが、満足度と今後の重要度を逆転させた方がよいと思います。</p> <p>重要度を聞いてから、満足度を答えていただく方が、より実態に応じた回答となると考えていますので、満足度と重要度の配置を換えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>満足度、重要度については、60数項目にわたっており、答えにくい部分もあります。</p> <p>選択肢に「わからない」を入れられていない理由は、どのようなことでしょうか。</p>
事務局	<p>その点は事務局としても検討し、「わからない」を入れることも考えましたが、そこに回答が行きやすくなり、まずは一度考えていただきたいということで、落とすことにしました。</p> <p>どうしてもわからない場合は、空欄となることを想定しています。</p>
会長	<p>この調査のポイントとして、不満、とても不満がどの程度出てくるかが、非常に大きいのではないかと思います。</p> <p>「わからない」はなくても良いのではと思っています。</p> <p>不満を抽出することでは、これで良いのではと思っています。</p>

【平成25年7月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第1回）要点録】

事務局	満足度等の回答については、資料の3頁のように、20点から100点の点数を与えて、評価指標とするように考えています。 皆さんすべてが、「おおむね満足」と答えられましたら、60点になります。
会長	60点を基準として、それより低い場合は、不満と言うことになりますので、その当たりがポイントですね。
事務局	評価の基準をどの程度におくかは、結果を踏まえてご意見をいただければと考えています。
委員	このアンケート調査の結果で、この会を行うことになるのですか。点数が満足していないと言うことで、この会を行うことになるのですか。
会長	このアンケート調査は、市民を意識から、江田島市がどうなっているのかを把握するために行うことになります。
委員	江田島市の問題は、4町がバラバラで一体となっていないこと。これが一つにならないと、まちづくりもうまくいかない、人口もどんどん減少していくという基本的な問題があります。 あまり細かいこと（調査）を行わなくても、だいたいのことはわかります。
委員	私たちの組織としては、様々な方の意見を聞きたいと考えており、このアンケートは是非行っていただきたい。
会長	数値に出てきたことは、いつも実態に合っているか注意しておく必要があると考えています。 出てきたデータが、実態と合っていないこと。例えば、満足している人が、自分の近辺にはそんなにいないとか、ということが出てくる場合があります。 地域ごとにも数値が出てきますので、数値を読み取る際には、日頃、見聞きしていることを反映させて、議論していただきたい。 また、数値にしておかないと、他者に対する説明が難しい面もあります。江田島の実態はこうだと説明するとき、アンケート調査の数値的な結果を加えることで、より説得力が高まると思います。
会長	（5）市民ワークショップについて【資料8】 この他にないようでしたら、協議事項（5）「市民ワークショップについて」を議題とします。 事務局から説明してください。
事務局	資料8をご覧ください。 （市民ワークショップについて説明） ※内容は資料8のとおり
会長	この件について、何か質疑があればお願いします。
委員	市民ワークショップの参加は、公募と言うことですか。
事務局	8月の広報に掲載します。また、ホームページにも載せて参加をお願いします。 皆様方にも、ご協力をお願いしに行くかもしれませんので、そのときはよろしくをお願いします。
会長	今日ご参加いただいている皆さまの組織、団体にも、声掛けをしておいて頂くと、非常に助かるのではと思います。 皆さまには、それぞれの組織、団体で参加を促すようなご協力を頂きたいと思っています。
会長	この他ご意見はありませんでしょうか。
委員	ワークショップのことについてですが、違った組織とか、幅広い年齢層とかに声をかけて頂きたい。 ともするとワークショップが何回あっても、メンバーは同じ人とのことが多い場合があります。出かけてみようという人は決まっていることが多いといえます。 色んな人に参加してもらえる方法があればと思います。

【平成25年7月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第1回）要点録】

会長	今現在、どう方法を考えておられるでしょうか。
事務局	関心を持たれている方は、片寄りがあるのかもしれませんが。 特に、若い方は、平日は参加しにくい面がありますので、週末、土日を設定しています。 強制して出て頂くことはできないので、広報等を通じて、幅広く声をかけるようにしています。 もう少し、工夫してみます。
会長	もしかすると、皆さま方に事務局からお願いがあるかもしれません。 ワークショップの情報を流して頂ければと思っています。
委員	学校関係については、12校ありますから、保護者の方々に声をかけたいと思います。 ワークショップには私も参加したことがあり、すごい意見が出されており、これが実現したらいいなと思うこともたくさんあります。
会長	この写真にありますように、すごくたくさんの意見が出されています。 事務局の方は、各委員の方の了承が得られたと言うことで、ご支援をお願いしたら良いのではないかとおもいます。
副会長	P T Aの方は、色んな思いをお持ちで、意見を頂きたいと思っています。 こんな大きなことを考える機会なので、各学校単位などで、教育委員会や学校、P T Aの協力を得て、これをみると2回だけなので、もう少しこうしたことができないかと思っています。 また、若い人の意見もお聞きし、把握したいと思っています。
事務局	今年度は、2回と言うことですが、来年度は具体的な取組などをお聞きするワークショップの開催を考えています。 そのときには、またよろしくお願ひします。
会長	ワークショップは、回数を多くすることで、皆さんの関与の度合いが高まります。 大変だろうとは思いますが、アンケート調査とワークショップは事務局が担当なので、よろしくお願ひしたいと思っています。 そこで出てきた意見を、こちらの方に披露して頂ければ、我々としても判断していきたいと思っています。 次世代の子どもたちのためにという視点も、最初の方に出てきましたが、子育てがしやすい江田島市を、どう実現するかも大事であり、その点についてもワークショップを通じて聞かせて頂きたいと思っています。
会長	(6) その他 それでは次に、協議事項(6)その他です。 ここで、今後の進行の参考とさせていただくため、委員の皆様から、まちづくりへの思いや、総合計画に対する意見、江田島市のイメージや将来について、いろいろご発言いただき、意見交換できればと思います。 委員の皆様どうぞざっくばらんにご発言いただければと思います。
委員	年齢や世代の間での交流がないことが、一番気になります。この点を考えなくてはいけないと思います。 若い世代や中間の年代は、地域においてはパイプがなく、言いにくいのが現状だと思います。 世代間交流が活発になれば、ワークショップへの参加が多くなり、容易になるのではないのでしょうか。
委員	中間の年代が、若い人に言うことが、一番良く伝わります。
委員	その点が、一番不足しているのではと思いました。 チームワークをつくることができれば、ワークショップの開催もやりやすくなるのではとかんじました。
会長	ありがとうございます。 江田島市が取り組んでおり、これからも取り組むであろう、流入していく人たちを増やそうということに関しても、人と人の交流がしやすいことが大事になります。

【平成25年7月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第1回）要点録】

	住みよいまちをつくる基本に、世代の交流があるのではと思いました。
副会長	<p>今の意見と似ていますが、協働のまちづくりについて、形はできつつあっても、内容はどの地区も模索していると思います。模索しながらも、かみ合っていないところが多いのではと思っています。</p> <p>それには、人が少なくなってきたことも要因といえ、実際のところ、難しくなっている現実があります。</p> <p>ボランティア精神がなかなか育ちにくい土壌があるし、出るのはいち部分の人だという現実があります。</p> <p>こういう中で世代をつなぐとなると難しい面があり、本当の意味の協働のまちづくりについて共通認識を持つに至っていないと思います。</p> <p>協働のまちづくりにどう取り組めばよいのか、若い人と年配の人がつながりにくいのが現実です。</p> <p>P T A段階、子ども段階を巻き込んだような、協働のまちづくりが進むための政策が必要だと思います。</p>
委員	<p>女性会は15支部ありますが、若い人に入っていない、どうして次の世代に譲ればいいのか大きな課題です。</p> <p>年間の行事を知ってもらい、若い人に譲りたいのですが、入っていない。</p> <p>「とんど」なども、なかなか出来にくくなっています。老人会が餅をつき、女性会が豚汁を作り、子どもたちの参加もありますが、そういうこともなかなか出来にくくなりつつある状況です。</p>
委員	<p>今日は、広島県のP T Aの母親代表が集まっていました。</p> <p>昔は、会長は男性がされていましたが、今は女性が会長になっているので、父親代表が必要な時代となっています。</p> <p>小学校が統廃合している、色んなお母さんたちがいる、それをまとめていくことはP T Aとしては大変なことです。そうした中、地域と一緒に活動を行い、地域と一緒に子どもたちを育てていくことが大切だと思っています。</p> <p>また、世代交代の時期になっているのだと思います。</p> <p>活動を行う上で、協力してくださいということも必要だと思います。</p> <p>若い世代にとって、女性会に入るのは、面倒なので入りたくないというお母さん方が多くなっているのが現状だと思います。</p> <p>でも、子どもを育てられているのは、お母様方なので、そこにはもっと交流の場が必要なのではと思います。</p> <p>そう思うと、祭りなどが非常に大切なものではないかと思っています。市の主催するものもありますが、江田島市としての祭りがあっても良いのではないかと思っています。</p> <p>私たちが変わらなければならないと思っています。</p>
委員	<p>私が参加したこれまでのワークショップでは、ものすごく意見が出され、これをもとに改善していくことが必要だと思います。</p> <p>意見を出せる機会があることは、とても良いことで、それが生かされるようになればと思います。</p>
会長	<p>私は、3、4年前に江田島の祭りに参加したことがあります。子育て最中の若い方々も協力して行われていたことにビックリし、他の地域より世代間の交流があるのだと思いました。</p> <p>総合計画では、「海生交流都市」を目指しているので、交流を一つの目標として、事業を取り入れることも良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>色んな交流の場をつくり、生かすことが出来ればと思います。</p> <p>ワークショップなどを行うときには、声をかけていかないと参加は難しい、特に若い人たちは。スポーツをしていたら違うと思いますが、スポーツをしていないと、交流の場を持つことは難しい時代です。</p> <p>教育委員会からP T Aに流すとか、していただくこともあるのではと思います。</p>

【平成25年7月24日：第2次江田島市総合計画審議会（第1回）要点録】

会長	<p>協働のまちづくりを行うためにも、参加は大切です。そのことは、江田島らしさという面でも。</p> <p>また、江田島市は海に囲まれており、それは短所であるかもしれませんが、利点に考え直せば、人づくり、交流の拠点として、新しい取組が出てきても良いのではと思います。</p>
委員	<p>ボランティア精神が広がらないことは、私たちが痛感しています。</p> <p>色んな関わりを持って、海の清掃などを行ってきています。ある程度報酬を出せば参加してもらえる状況です。</p> <p>その点は、私たちの指導力も足らなかったのだと思いますが、そうした中で自治会の一生懸命の姿には、頭が下がる思いです。</p> <p>若い人にどのようにすれば参加してもらえるか、広がりやをどうつくるかに取り組んでいますが、ここでの知恵を借りて考えていきたいと思っています。</p> <p>こうした場は大切になります。</p>
委員	<p>この27日に、第1術科学校でサマーフェスタがあり、花火大会もあります。</p> <p>これを江田島の一大祭りに行きたいと思っています。</p>
会長	<p>皆様から江田島市へのご意見や、思いをいただきました。</p> <p>今後は、そういったこともふまえて計画づくりにまい進したいと思っています。</p> <p>事務局から何かありますか？</p> <p>他にないようでしたら、本日の協議事項はすべて終了しました。</p> <p>皆様方のご協力ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第2次江田島市総合計画審議会第1回会議を閉じたいと思います。</p> <p>お疲れ様でした。</p>